

コース名		科目名		対象学年			
臨床医学		感染症		4			
開講学期		科目責任者		副責任者			
1 学期		大石 智洋		小橋 吉博			
目的							
感染症について、多臓器に渡り系統的に理解する事を目的とする。							
授業到達目標							
1. 宿主別、小児や高齢者、免疫抑制者、腎疾患においてどのような感染症が発生しやすいか、説明できる。 2. ウイルスや細菌、真菌などの診断方法、治療の違いを理解し、説明できる。 3. 耐性菌の発生機序や対策などを説明できる。 4. 臓器別の感染症の特徴、診断や治療の特殊性を説明できる。 5. 院内感染の基本や主な感染経路別対策をはじめとした、耐性菌対策を説明できる。 6. 予防接種の基本や法令について説明できる。 7. 海外からの輸入感染症について主なものが説明できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	4/ 1	月	3	講義	吉岡奈	消内	主な疾患 肝炎、肝腫瘍、腹膜炎 B型、C型肝炎ウイルスの治療について説明します。
2	4/ 1	月	4	講義	逸見	神内	主な疾患 特殊な神経疾患（プリオン）
3	4/ 4	木	2	講義	小橋	呼内	主な疾患 不明熱
4	4/ 4	木	3	講義	小橋	呼内	主な疾患 結核（非結核性抗酸菌症を含む） 結核および非結核性抗酸菌症のガイドラインに沿った診断・治療に加えて、免疫学的な最新の診断の動向を先端的な研究を含めて紹介します。
5	4/11	木	2	講義	小橋	呼内	主な疾患 下気道炎（急性気管・気管支炎、慢性気道感染症）
6	4/11	木	3	講義	大石	臨床感染	基礎から臨床（細菌）
7	4/18	木	3	講義	福田寛	血内	宿主別感染症 HIVと感染症
8	4/18	木	4	講義	大石	臨床感染	海外からの輸入感染症
9	4/25	木	4	講義	大石	臨床感染	基礎から臨床（ウイルス）
10	4/25	木	5	講義	大石	臨床感染	感染症の診断
11	5/ 1	水	1	講義	福田寛	血内	主な疾患 HIV感染症、AIDS
12	5/ 1	水	2	講義	黒川	総内1	主な疾患 中枢神経感染症（髄膜炎・脳炎）
13	5/ 7	火	3	講義	大石	臨床感染	感染対策の基本
14	5/ 7	火	4	講義	大石	臨床感染	感染対策の応用
15	5/13	月	5	講義	大石	臨床感染	宿主別感染症 麻疹風疹
16	5/13	月	6	講義	山下直	総合臨床	主な疾患 上気道炎
17	5/16	木	4	講義	大石	臨床感染	宿主別感染症 その他の発疹性ウイルス感染症
18	5/21	火	3	講義	白井	総内1	敗血症の病態・原因・診断
19	5/21	火	4	講義	大石	臨床感染	宿主別感染症 非発疹性ウイルス感染
20	5/24	金	3	講義	上原	泌尿器	主な疾患 尿路生殖器感染症（総論）
21	5/28	火	5	講義	村田卓	産婦	主な疾患 生殖器・骨盤内感染 産婦人科の教科書で産婦人科感染症の部分を読んで予習してください。

22	5/28	火	6	講義	小橋	呼内	主な疾患 下気道炎（肺炎・肺腫瘍・胸膜炎） 肺炎診療のガイドラインに沿った診断・治療に加えて、ワクチン（肺炎球菌など）治療に関する有用性についての先端的な研究を紹介します。
23	6/ 4	火	3	講義	大石	臨床感染	小児の重症感染症（髄膜炎、尿路感染、血流感染）
24	6/ 4	火	4	講義	大石	臨床感染	予防接種
25	6/11	火	1	講義	白井	総内1	敗血症の治療
26	6/11	火	2	講義	永坂	先端腫瘍	宿主別感染症 癌と感染症
27	6/14	金	3	講義	吉岡大	臨床感染	医療関連感染（血管内感染、カテーテル感染、手術部位感染）
28	6/14	金	4	講義	村田卓	産婦	主な疾患 性感染症 産婦人科の教科書で産婦人科感染症の部分を読んで予習してきてください。
29	6/18	火	5	講義	大石	臨床感染	新興・再興感染症
30	6/18	火	6	講義	吉岡大	臨床感染	COVID-19 とインフルエンザ
31	6/21	金	1	講義	河本豊	脊椎・関節	骨と関節の感染
32	6/21	金	2	講義	上原	泌尿器	主な疾患 尿生殖器感染症（各論）
33	6/24	月	5	講義	松本啓	消内	主な疾患 消化器感染（腸管）
34	6/24	月	6	講義	大石	臨床感染	感染症のまとめ
35	6/26	水	3	講義	椎野	救急	救急医療と感染症
36	6/26	水	4	講義	松橋	血内	造血細胞移植と感染症

評価方法

[期末試験]100%（授業全般にわたっての理解を五肢択一式の試験により確認する。）

[出席状況（受講態度）]（出席状況や受講態度が悪い時、5%の範囲で減点する。）

[評価方法]多肢選択試験、出席・受講態度評価

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて

一部の先生では定期試験後、フィードバックを行うことがあります。

教科書

ISBN-, 『外来で見逃さない！感染症診療』, , 診断と治療社, 2024年4月発刊予定

参考書

特になし

準備学習（予習・復習等）

講義資料により講義内容を確認し、該当部分を通読しておくこと。復習：配布資料で再度確認すること。

講義についての注意事項

授業を中心に勉強すること。

新聞で感染症の流行などに関する記事を読むこと。

昨年度からの変更点・改善項目

研修医の理解度テストから授業内容を改善しています。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

この科目は、主としてコンピテンス・コンピテンシーの「Ⅲ. 医学と関連領域の知識」の「人体各器官の正常な構造と機能を説明することができる」、「全身におよぶ生理的变化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明することができる」、「病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明することができる」の達成に向けて設定されている。

本科目の後に学ぶ症候論や臨床病態論の他、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解する。

ナンバリング

DLID403